

地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)公開シンポジウム
『アフリカにおける稲作研究の発展と展望』プログラム

2014年07月12日(土) 13:00 ~ 17:45

開会 (司会)犬飼 義明:名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授	
13:00 - 13:30	1)開会挨拶 渡辺 芳人:名古屋大学副総長、研究・国際企画関係担当
	2)主催者挨拶 山内 章:名古屋大学大学院生命農学研究科教授/名古屋大学農学国際教育協力研究センター長
	3)来賓挨拶 田和 正裕:国際開発機構(JICA)農村開発部次長
基調講演 (司会)犬飼 義明:名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授	
13:30 - 13:55	アフリカにおけるイネ研究開発:必要性、課題および展望 Abdel Ismail:国際稲研究所(IRRI)主席研究員
アフリカの稲作と稲作研究の現状 (座長)増永 二之:島根大学大学院生物資源科学研究科教授	
13:55 - 14:40	1)ケニアの稲作と稲作研究の現状 Bibiana Walela:ケニア農業省作物局稲作振興室長
	2)セネガルの稲作と稲作研究の現状 Ndiaye Ramatoulaye:セネガル農業研究所サンルイ地域研究センター土壌分析研究室長
	3)タンザニアの稲作と稲作研究の現状 Omar Moh'd Mmanga:タンザニア農業食糧安全保障協同組合省キロンベロ農業研修研究所研究員
14:40 - 14:55	休憩
研究報告 (座長)前川 雅彦:岡山大学資源植物科学研究科教授	
14:55 - 16:55	1)「テラーメード育種と栽培技術開発のための稲作研究プロジェクト」の概要と進捗状況 榎原 大悟:名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授
	2)各種ストレス耐性の遺伝解析と高度ストレス耐性育種素材の開発 土井 一行:名古屋大学大学院生命農学研究科准教授
	3)ケニアにおけるイネの非生物学的ストレスに関する研究 John Kimani:ケニア農業研究所ムエア支所上級研究員
	4)ケニアの稲作におけるSRI農法(System of Rice Intensification)のインパクト Raphael Wanjogu:ケニア国家灌漑公社ムエア灌漑農業開発センター主席研究員
	5)スーダンの生育環境に適応したストライガ抵抗性イネ品種の選抜 鮫島 啓彰:神戸大学大学院農学研究科学術推進研究員
	6)東南アジアの干ばつ水田における作物栽培技術の改善とその普及 加藤 洋一郎:国際稲研究所(IRRI)研究員

総合討論 「研究成果のまとめと今後の取組の必要性および方向性」

16:55-17:30

モデレーター

山内 章：名古屋大学大学院生命農学研究科教授/名古屋大学農学国際教育協力研究センター長

リソースパーソン

Abdel Ismail：国際稲研究所(IRRI)主席研究員

槇原 大悟：名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授

土井 一行：名古屋大学大学院生命農学研究科准教授

John Kimani：ケニア農業研究所ムエア支所上級研究員

Raphael Wanjogu：ケニア国家灌漑公社 ムエア灌漑農業開発センター主席研究員

鮫島 啓彰：神戸大学大学院農学研究科学術推進研究員

加藤 洋一郎：国際稲研究所(IRRI)研究員

閉会 (司会)犬飼 義明:名古屋大学農学国際教育協力研究センター准教授

17:30-17:45

1) 来賓挨拶

浅沼 修一：科学技術振興機構(JST)研究主幹

2) 閉会挨拶

山内 章：名古屋大学大学院生命農学研究科教授/名古屋大学農学国際教育協力研究センター長

交流会

18:00 - 20:00

場所：レストラン花の木(名古屋大学内)

(2014.07.02 版)